

科目名 Course Name	ウエディングデザイン(儀礼服飾) Weding Design (Ceremony Fashion)			ナンバリング No.	C1-013		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>[概要]結婚式(ウエディング)における衣裳など、人生の通過儀礼の服装についての意味や歴史、関連産業等について知識を深める。また、洋装と和装のセレモニーファッションの種類、衣裳デザイン、素材、構成法及び着装法を学ぶ。</p> <p>[達成目標]①日本の通過儀礼、和服や伝統的な染織文化、洋装のしきたりについて造詣を深め、コーディネーターとして、衣裳の説明や着装ができ、業務に就くことができるようにする。②諸外国の儀礼について理解し、グローバルな視点をもつことができる。③ひとえ長着の着装ができる。</p>						
授業の方法	1～7回は、洋装のウエディングファッションについて、デザイン・着装法を、女子・男子の衣装について実物と資料で学ぶ。8～15回は和装の婚礼及び儀礼服飾等を、意匠・素材・着装法について実物と資料で学ぶ。4回のレポート作成及びプレゼンテーション(発表)により、ディスカッションしながら自己評価・相互評価をする。また、貸衣装店での校外実習を行う。						
学習成果	L01						
	L02	人生の儀礼的行事(セレモニーファッション)の意味が理解され、コーディネーターやアドバイザーとして、お客様に説明やフィッティング等の補助的な仕事ができる。					
	L03	人生の儀礼的行事(セレモニーファッション)の仕事の現場で、衣裳の説明やフィッティングを行うことができ、時代に沿ったアドバイザー的提案と仕事ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートや授業ノート等の提出物は速やかに講評し、掲示したり協働板で共有したりする。						
教科書/参考図書	授業内プリント配布 参考図書:『服飾文化(文部科学省)』、装道きもの学院テキスト(装道出版局)、しきたり大全(講談社)他						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レポート等提出物の期限厳守</li> <li>●プリントを綴るファイルを用意すること</li> <li>●日頃から服飾全般に関心をもち、積極的に授業参加すること。</li> <li>●材料費は自己負担</li> <li>●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180分</li> </ul>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	課題意識をもってノートを取り、意欲的に質問し意見を述べるなど、授業への主体的な態度を評価する。		20		
レポート/作品	与えられた課題の内容を適切に理解し表現できているかを評価する。評価規準Sは事前に示した各観点十分に達成できている状態である。期限を過ぎた場合は減点する。		20	20	
発表					
小テスト					
試験	期末試験を15週目に実施する。学習内容が十分理解されているか評価する。			40	
その他					
<b>合計</b>			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 人生の通過儀礼の歴史と慣習 諸外国の成年年齢等民法上の年齢について調べる【レポート】
	事前・事後学習	人生における行事と服装の関係に興味を持ち、これまでに体験した儀礼について家族に尋ねる。
2	授業内容	日本の結婚式の現状 ブライダルのスタイル、キリスト教式、神前式、仏前式、人前式
	事前・事後学習	日本の結婚式について興味・関心を持つ。
3	授業内容	ウエディングドレスデザイン①新婦・新婦(洋装) デザイン、素材、着装法
	事前・事後学習	次時のレポートの材料について、雑誌や SNS 等の情報、専門店のディスプレイ等に関心を持って情報を集める。
4	授業内容	ウエディングドレスデザイン②『ウエディング衣裳(洋装)』【レポート】
	事前・事後学習	レポートを完成させる。
5	授業内容	ウエディングドレスデザイン②『ウエディング衣裳(洋装)』グループでの発表及び他者評価
	事前・事後学習	『ウエディング衣裳(洋装)』のレポートに他者評価を添付して完成させる。
6	授業内容	洋装における昼・夜のフォーマル
	事前・事後学習	フォーマルシーンチャートを理解するよう復習する。
7	授業内容	参列者のマナー、トータルコーディネートの考え方、着装のまとめ 諸外国の結婚式について調べ、発表により情報を共有する。【レポート】
	事前・事後学習	諸外国の結婚式についてレポートを完成させる。
8	授業内容	日本の着物(和装) ①和服の構成(男物ひとえ長着のミニチュアの作成、各部の名称)、和装の結婚式の変化 歴史・概説
	事前・事後学習	祖父母や両親の結婚式の際の服装について聞き取りをし、当時の様子を知る。
9	授業内容	日本の着物(和装) ②子供の成長祝い宮参り、七五三、成人式、長寿祝い、結婚式(打掛、白無垢、引き振袖、紋付き羽織袴)特徴と着装法
	事前・事後学習	儀礼服に関するこれまでの学習を復習して校外授業に臨む。
10	授業内容	校外授業 貸衣裳店にて講話及び施設見学・着装実習をする 貸衣裳の種類と特徴、着装法、業務を理解する。 講話内容をまとめ、考察する。【レポート】
	事前・事後学習	事前には、校外授業での質問事項を考える。事後はレポートを完成させる。
11	授業内容	日本の着物(和装) ③和服の格、文様、紋 ④和服の染め・織と慣習(日本各地に伝わる伝統染織品) 振袖・卒業式袴の着装法
	事前・事後学習	和服の種類や文様、家紋に興味を持ち調べてみる。
12	授業内容	日本の着物(和装) ひとえ長着(ゆかた)の着装
	事前・事後学習	着装を繰り返し練習する。次時のレポートの材料について、雑誌や SNS 等の情報、専門店のディスプレイ等に関心を持って情報を集める。
13	授業内容	日本の着物(和装) ⑤『魅力的な衣裳(振袖、袴、七五三の衣裳等)』【レポート】 和装小物の製作の説明
	事前・事後学習	レポートを完成させる。着物の種類を理解する。振袖や袴など、自身のコーディネートについて研究する。和装小物の材料を準備する。
14	授業内容	日本の着物(和装) ⑤『魅力的な衣裳(振袖、袴、七五三の衣裳等)』グループでの発表及び他者評価 日本の着物(和装) ⑥ 和服の着装と動作 試験についての説明と復習
	事前・事後学習	次時の材料を準備する。前期試験の準備
15	授業内容	和装小物の製作【作品】 講義のまとめ、振り返り
	事前・事後学習	和装の髪飾りの完成